

水産物の市況について(平成26年9月及び10月)

—東京都中央卸売市場における平成26年9月(平成26年8月21日～9月20日集計)の市況と、
平成26年10月の市況見通し(前月との比較)—

I 平成26年9月の全体の市況

東京都中央卸売市場における総入荷量(水産物の生鮮品、冷凍品、加工品の合計)は前月と比べ増加となり、卸売価格(水産物全体の1キログラム当たり平均価格)は前月と比べやや弱含みに推移しました。

II 平成26年10月の主要品目の市況見通し

「まいわし(生鮮品)」

入荷量は前月と比べやや減少すると見込まれるものの、時期的にサンマやサバに需要があることから卸売価格は横ばいに推移すると見込まれます。

「さけ・ます(塩蔵品・冷凍品)」

入荷量は新物のアキサケの搬入が増加するが、全体では前月並みと見込まれ、卸売価格は横ばいに推移すると見込まれます。

「さば(生鮮品)」

入荷量は前月と比べやや増加すると見込まれるものの、需要が引き続きあることから、卸売価格はやや強含みに推移すると見込まれます。

「するめいか(生鮮品・冷凍品)」

入荷量は前月と比べやや減少すると見込まれ、卸売価格はやや強含みに推移すると見込まれます。

「あじ(生鮮品)」

入荷量は前月並みと見込まれ、卸売価格は横ばいに推移すると見込まれます。

「まぐろ(冷凍品)」

入荷量は前月並みと見込まれ、卸売価格は横ばいに推移すると見込まれます。

「かつお(生鮮品)」

入荷量は前月と比べ減少すると見込まれ、卸売価格はやや強含みに推移すると見込まれます。

凡例(目安)

増減率	入荷量	卸売価格
0～2%	並み、横ばい	横ばい
3～10	やや増加(減少)	やや強(弱)含み
11～20	増加(減少)	強(弱)含み
21～50	かなり増加(減少)	かなり強(弱)含み
51～	大幅に増加(減少)	—

東京都中央卸売市場への総入荷量・卸売平均価格(概数)

(単位:千トン、円/kg)

	9月		前月		前々月	
	入荷量	価格	入荷量	価格	入荷量	価格
26年	44	933	39	989	44	919
前年	45	888	41	883	45	859

注1:入荷量及び卸売価格は、それぞれ前月の21日から当月の20日までの暫定数値。

2:入荷量は生鮮品、冷凍品、加工品の合計。

主 要 品 目 の 価 格

(単位:円/kg、%)

	東京都中央卸売市場卸売価格(概数)			
	9月	前月対比	前年同月対比	平年同月対比
いわし(生鮮品)	401	64	62	75
さけ・ます(平均)	946	99	123	150
(ぎんざけ塩蔵品)	918	100	134	140
(あきさけ塩蔵品)	594	100	81	101
(ときさけ塩蔵品)	972	100	124	125
(べにざけ塩蔵品)	1,080	100	113	119
(さけ類冷凍品)	952	100	126	166
さば(生鮮品)	400	106	95	100
するめいか(平均)	503	105	109	124
(生鮮品)	509	105	109	123
(冷凍品)	472	100	111	126
あじ(生鮮品)	496	72	81	96
まぐろ(冷凍品)	1,147	96	84	84
(めばち冷凍品)	889	101	94	91
(きはだ冷凍品)	798	102	89	84
(くろまぐろ冷凍品)	2,730	90	70	79
(みなみまぐろ冷凍品)	1,780	102	86	80
かつお(生鮮品)	750	96	95	115

注1:品目により、市場で主流となる形態が異なることから、市況を把握する指標としてもっとも適当な形態についての価格データを掲載している。

注2:9月の価格は1～20日までの速報値を元に算出。平年とは平成21年～25年の加重平均値。

注3:さけ類冷凍品は、主として、ぎんざけ、あきさけ、ときさけ、べにざけ、アトランティックサーモンが含まれる。

注4:さけ・ます(平均)は、さけ・ます類全般の塩蔵品及び冷凍品が含まれる。

注5:まぐろ(冷凍品)は、めばち、きはだ、くろまぐろ、みなみまぐろが含まれる。

問い合わせ先:水産庁加工流通課企画調査班

代表 03-3502-8111

内線 6617 岡野、原、安井

直通 03-3591-5612